

- 建設産業の担い手確保・育成について、実績、知見、能力を有し、今後の担い手確保・育成を推進していく意志を有する者によるコンソーシアムを10月中に立ち上げ、地域における総合工事業団体、専門工事業団体、教育訓練機関、教育機関等による入職促進、定着、育成に資する事業を支援
- 事業推進に当たっては「アクションプログラム」を策定し、建設業振興基金に設置された「担い手育成基盤整備基金（ソフト事業分）」を活用し、地域連携ネットワークの構築に要する経費など平成26年度から5ヶ年を目途に支援。

## 検討中の主な事業内容(案)

※平成26～27年度に実施する主な事業(地域のニーズに応じ、順次支援メニューを充実)

○**地域連携ネットワークの構築**  
都道府県単位で、総合工事業団体、専門工事業団体、職業訓練校、教育機関、地方公共団体等による担い手確保・育成体制の構築を支援  
(平成27年度までに15件程度を目標)

○以下の取組を通じ、**地域連携ネットワークの構築・充実を支援**

### 1. 教育訓練等基盤の充実・強化

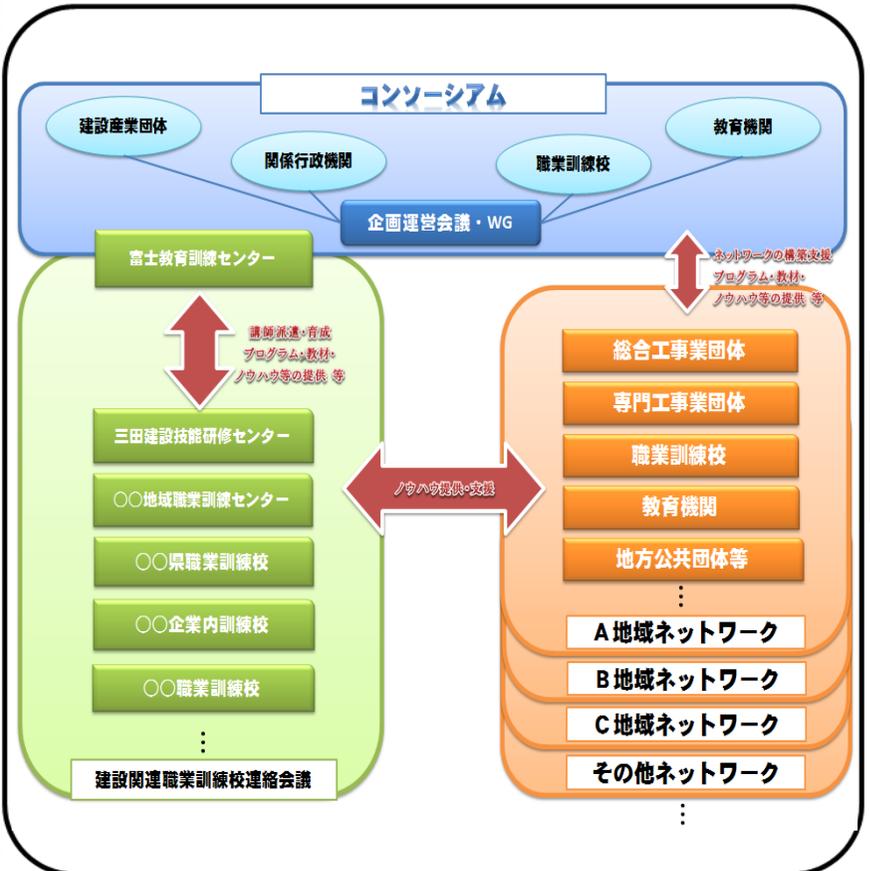
- (1) 訓練プログラム・教材等の整備
  - ・当面、入職前の若年者、初任者、工業高校等教員等を対象に、ニーズに応じた訓練プログラム・教材等を整備
- (2) 講師の発掘・育成
  - ・全国の講師情報を収集して講師DB(人材バンク)を構築し、関係者間で共有、富士教育訓練センターで講師養成コースを設置
- (3) 人材確保・育成に関する情報収集・発信及び提案
  - ・各地域における担い手確保・育成に資する優良事例の収集・情報発信、人材確保・育成に資する取組の地域への提案等
- (4) 若年者の入職促進に向けた戦略的広報の推進

### 2. 各地域の職業訓練校間のネットワークの構築

富士教育訓練センターを中核とする各地域の職業訓練校間の情報交換、相互協力、その他共同事業の展開等を推進

- ・各地域の職業訓練校で行っている講座等のDBを構築
- ・各地域の職業訓練校間の情報交換や相互協力を行うための「建設関連職業訓練校連絡会議(仮称)」の立ち上げ

## 建設産業担い手確保・育成コンソーシアム(イメージ)



未来志向、キャリア志向、教員、保続者等への働きかけ